

重度の障がいのある人でも、必ず「意思」あるいは「思い」や「気持ち」があり、自分のことを自分できめることができる可能性を秘めています。それをどのように支援できるのか…と考えるのがポイントといえます。(講師の又村さん「ここが一番大事」と強調)

津別町手をつなぐ育成会の「研修会」を7月8日に町民会館で開き25人が参加しました。

講師に、全国手をつなぐ育成会連合会事務局長の又村あおいさんをお招きし、2月11日に引き続き2回目の研修会の開催となりました。

「知的・発達障がいのある人の意思決定支援について」をテーマに、次の3つの「柱」で講義をしていただきました。

- ① 権利擁護ってなんだろう? ② 意思決定支援の権利条約・法制度上の位置づけについて
- ③ 意思決定支援を考える・実践するポイントについて



又村さんは3つの「柱」について、詳しく説明し、講義の最後を次のように締め括りました。

「意思決定支援」は、新しい言葉ですが、決して「特別なこと」「難しいこ



と」「専門家でなければ対応できないこと」ではありません。むしろ、家族や支援者と過ごす日常の中に自然と埋め込まれているものです。まずは、障がいのある人の意思(意向や気持ち)への注意度を高めていくことからスタートしてみましょう。

### ＝ お母さんランチ会 ＝

- ・日時 8月25日(金) 午前11:30
  - ・会場 ちゃのまさん(和室)
- 食事をしながら気楽にお話しをしましょう。  
※ 詳細は、後日、ご案内いたします。

◎2023年度「年会費」を納入いただいた方 (期間:6月19日~7月18日)

【正会員】グリーンマートinつべつ様

【賛助会員】5名様

＝ ご協力をいただき、誠にありがとうございました。＝

# クレシェ通信

NPO法人津別町手をつなぐ育成会  
就労継続支援B型事業所 つむぎ 7月号

発行:津別町手をつなぐ育成会  
住所:津別町1条通21-1  
電話:0152-77-3210  
発行責任者:白鳥幸  
発行日:2023年7月20日

## 特別支援の児童「パン作り」で大喜び



津別小学校の特別支援の児童が、クレシェで「パン作り」体験を行いました。6月24日に1年生2人、7月19日に3年生4人が参加しました。パン生地を50gずつに取り分け、あんパン、チョコパン、ロールパンなどを作りました。育成会副理事長の白鳥幸が指導し、パンを成形するまでの作業を体験しました。

子どもたちにとっては初体験の「パン作り」でしたが、少しずつコツをつかみ、スタッフに「上手だね～」とほめられると喜んでいました。焼き上がったパンは、子どもたちが下校をするまでに学校に届けられ、パンを受け取った子どもたちは大喜びでした。今後も月一のペースで「パン作り」体験は続きます。



## 毎朝の収穫に「なんてエライ子たち」



毎朝のラズベリーの摘み取りがピークを迎えています。育成会の裏にある小さな畑に昨年、移植したラズベリーの株が増え、今年の天候と相性がいいのか、真っ赤に熟したたくさんの実が毎朝、収穫できています。パン工房のスタッフからは「なんてエライ子たちなの～」とラズベリーの頑張りを喜んでいました。摘み取ったラズベリーは洗って冷凍しパンのトッピングに使う予定です。畑には、ミニトマト、ピーマン、バジルが植えてあり「ピザの具材畑」と呼んでいます。これらピザの具材ももう少しで収穫を迎えます。



当会のホームページで、「会報」とフェイスブックを閲覧できます。

## 8月のクレシェの営業日

日	月	火	水	木	金	土
7/30	7/31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	9/1	9/2

色付きの日が営業日 / 土曜日はさんさん館で営業